

清心の皆様に『精神0』を

はじめまして。ノートルダム清心女子大学を大昔に卒業した柏木規与子と申します。

渡辺和子学長に憧れ入学し、卒業式の「いってらっしゃい」のお言葉に後押しされて上京し、その後渡米し20年余年が経ちます。現在はニューヨークに在住し、ダンスや映画の製作をしたり、ニューヨーク市立大学の演劇学科で太極拳の教ををさせていただいたりしています。

ノートルダム清心女子大学に在学中は、学長を始め先生方、学友達、本当に素晴らしい方々と有意義で感動的な時間を過ごし、その経験は明らかにその後の私の人生を明るく晴れ晴れとしたものに導いてくれました。皆様、どうもありがとうございました。

私は幼少よりダンスをやっており、趣味が高じてニューヨークまで来てしまったのですが、ある時ニューヨークで映画を勉強している日本人男性と結婚し、その夫（想田和弘といいます）と一緒に映画の製作も手がけるようになりました。

2007年に「観察映画」と名打って『選挙』というドキュメンタリー映画を製作して以来、私達は現在までに10本の観察映画を製作しました。10作目の『精神0』は、岡山の精神科を撮影した『精神』（2009年公開）の続編で、2018年に再び岡山を舞台に撮影した作品です。

私たちの映画は、9本目までの全作が日本で劇場公開されました。そして、新作『精神0』も今年の5月2日を皮切りに日本全国で公開予定でした。しかし、新型コロナウイルス禍が深刻化するなか、通常通りの劇場公開は難しく、なにか代替案が必要となってきました。そして、感染を恐れず安心して観客の皆さんに映画を観ていただく方法はないか、配給会社や劇場、関係者達で考えあぐねた結果、劇場公開と並行して“仮設の映画館”を設置することにいたしました。

文章が長く込み入って参りますので、もしよろしければ“仮設の映画館”のウェブサイトにお越しいただけませんか？そして、もし“仮設の映画館”のアイデアにご賛同いただけましたら、皆様の最寄りの“仮設の映画館”で、是非『精神0』を是非ご高覧いただきたいです。“仮設の映画館”は日本全国で35箇所ございます。

“仮設の映画館”ウェブサイト

<http://www.temporary-cinema.jp/>

『精神0』は、今年の2月にベルリン国際映画祭で、エキュメニカル賞を受賞しました。エキュメニカル賞は、全世界のキリスト教団体を代表して送られる賞です。受賞時に、審査員から「人間の尊厳と力を示す画期的な出来事が描かれている。慈愛と謙虚さが行為を導いている。経済的・社会的成功により重きを置く社会の中で、人間が持つ力と愛する者へのケアの価値を描いた感動的な映画である。」と評されました。

清心の皆様に、是非『精神0』をご高覧いただきたいです。